

## 福島県金融経済概況

### 1. 概 況

県内景気は、引き続き厳しい状況にあるが、生産面を中心に持ち直しに転じつつある。

すなわち、最終需要をみると、個人消費は、各種政策効果から自動車販売や家電販売の一部で持ち直しているものの、雇用・所得情勢が厳しさを増しているもとの、全体としては弱い動きが続いている。住宅投資は前年を上回ったが、水準としてはなお低い。公共投資は前年に大型案件の発注があったことから前年を下回った。設備投資は企業収益が悪化するもとの、減少幅がさらに拡大している。

鉱工業生産動向をみると、内外の在庫調整の進捗や政策効果から、持ち直しの動きが広がっている。

消費者物価指数は前年を下回って推移している。

こうしたもとの、9月短観でみた県内企業の業況判断 D. I. は、3月調査をボトムに2回調査連続で「悪い」超幅が縮小した。

### 2. 最終需要動向

個人消費は、各種政策効果から自動車販売や家電販売の一部で持ち直しているが、節約志向の強まりや天候不順、新型インフルエンザの影響から、全体としては弱い動きが続いている。

- 大型小売店売上高は、雇用・所得環境の厳しさを背景に、秋物商戦の滑り出しが鈍いなど弱い動きが続いている。
- 新車登録台数（含む軽）は、税制改正等の効果から小型車を中心に持ち直しており、13か月ぶりに前年比増加に転じた。
- 家電販売は、政策効果もあって薄型テレビ、冷蔵庫の販売が増加している。
- レジャー消費をみると、一部観光地で高速道路ETC割引の効果がみられているものの、消費マインドの冷え込みや新型インフルエンザの影響もあって、国内外とも旅行支出を抑える動きが続いている。  
もともと、シルバーウィーク期間中は、多くの観光施設で県内外からの入込みが好調に推移した。

設備投資は、企業収益の悪化や設備過剰感から、当初計画を下方修正する動きがみられ、当面、大幅な減少が見込まれる。

住宅投資は一時的に前年を上回ったが水準としてはなお低い。

公共投資は、前年に大型の発注案件があったことから、2か月増加をみたあと再び前年を下回った。

### 3. 鉱工業生産動向

生産面をみると、内外の在庫調整の進捗や政策効果から、持ち直しの動きが広がっている。業種別にみると、一般機械が民間設備投資の弱さを受け減産を継続している一方、輸送機械、電気機械を中心に幅広い業種で持ち直しが続いている。また、こうした動きを映じて非鉄金属、化学などの素材業種でも生産水準を引き上げる動きがみられている。

### 4. 雇用・所得動向

雇用・所得情勢は厳しさを増している。

- 有効求人倍率は、0.34倍と過去最低の水準に止まるなど厳しい状況が続いている。
- 大口人員整理の対象人数は引き続き前年を上回っている。
- 雇用保険受給者数は大幅に増加する状況が続いている。
- 所定外労働時間は、前年をなお大幅に下回っているものの、製造業における生産の持ち直しの動きを映じて、前年比マイナス幅が縮小した。
- 雇用者所得は、常用雇用者数、現金給与総額ともに減少したことから、前年比マイナス幅が拡大しており、家計を巡る環境は厳しさを増している。

### 5. 金融情勢

銀行券受払高は発行超となった。

実質預金は個人預金の増加を主因に前年を上回って推移している。

貸出は法人の運転資金需要の増加等から前年を上回って推移している。

貸出約定平均金利（総合＜含む当貸＞）は、地元地銀・第二地銀、信金とも前月を下回った。

企業倒産件数は比較的落ち着いた状態が続いている。

以 上